

INFO 01 第61回武庫川女子大学体育祭を開催！
5月17日(土) 9時～18時 雨天決行

一般の方も参加できるイベントをご用意。体を動かしたり、脳を動かしたりするミニゲームに参加し、抽選会に応募できるなど楽しい企画が盛りだくさん！ぜひ武庫川女子大学体育祭にご来校ください！



INFO 03 毎日の暮らしを支えるお買い物は
ライフ阪神鳴尾店

季節の彩り盛りだくさん！野菜や果物・肉・魚など新鮮な食材に、種類も豊富な惣菜、焼きたてベーカリーなど、毎日の暮らしを支えるお買い物は「ライフ阪神鳴尾店」をご利用くださいませ！
Instagramも配信中。詳しくは右記二次元コードをチェック！



INFO 02 武庫川団地「赤胴車のある広場」で
赤胴車マルシェを開催！
5月25日(日) 10時～16時 雨天決行

ふれあい動物園やハンドメイドコーナー、鉄道グッズ販売、キッチンカー、ワークショップ、ステージなどこどもから大人まで楽しめるコンテンツが盛りだくさん！メルカードもこがわでは、こどもフェスタも同時開催！みなさま、ぜひお越しください。



主催：赤胴車マルシェ実行委員会

INFO 04 情報発信中！
Lavy's café SNSのご紹介

Lavy's caféでは、最新情報やお得なクーポンなどをSNSにて発信しています。スタッフのおすすめメニューやイベントの情報なども紹介しているので、下記二次元コードをチェックしてみてください！

Lavy's Café
SNSアカウント

Instagram
メニュー紹介や
最新情報など
発信中！



LINE
友だち限定で
お得なクーポン
配信します！



詳細・お問い合わせ先等は、二次元コードから各情報の関連ページをご覧ください。

ランチ どこ行く？

**カフェ
ベトール
PETAL**

PETAL (ベトール)
西宮市鳴尾町3-1-6 TEL.0798-40-2226
【営業時間】月～金曜は、9:00～19:00、土曜・祝日は、10:00～19:00/日曜休
※営業時間・定休日は変更となる場合がございますので、来店前に店舗にご確認ください。

鳴尾・武庫川女子大前駅から徒歩30秒の場所に位置する「PETAL」。今年で創業33年を迎え、地元の方が集う温かい雰囲気のあるお店です。

店主のイチオシは「チーズとササミの春巻き包み揚げ」1,050円。カラッと揚げた春巻きを相性抜群のタレにつけて一口食べたあなたは、この春巻きの虜になることでしょう。

食欲をそそる春巻きの断面美に、油の香ばしい香り、食べたときのパリッとした音に、とろりと溶けたチーズ、そしてささみのふわふわな食感。あなたの五感が幸せで満たされるメニューとなっています。

他にも、デミグラスソースの「煮込みハンバーグ」1,050円、鶏ミンチのあっさりとした「和風ハンバーグ」1,050円もおすすめで。おいしいだけでなく、どこか懐かしさを感じる料理一つ一つに店主の愛情が感じられます。

ランチにはボリュームミーな定食を、ティータイムにはケーキとコーヒーを食べ、是非一度「PETAL」に足を運んでみてください。

(左から) 武庫川女子大学 久保さん、山下さん、渡邊さん

阪神電気鉄道

武庫川女子大学
Mukogawa Women's University

iii
なるおエリアマネ

なるお通信配布場所／阪神電車各駅、武庫川女子大学、Lavy's Café、みなと銀行鳴尾支店、ライフ阪神鳴尾店、西宮市鳴尾支所・高須分室、なるお会館ほか
〈配布にご協力いただける場合は阪神ステーションネットまでご連絡ください〉

なるお通信 Vol.10
(2025年春号)

「なるお通信 Vol.11」は
2025年秋発行予定です。
お楽しみに！

発行 鳴尾エリアマネジメント連絡会
(株)阪神ステーションネット／(株)阪神電気鉄道(株)／(株)みなと銀行／
学校法人武庫川学院／(株)ライフインノベーション／(株)ライフコーポレーション(50音順)
制作 (株)阪神ステーションネット 大阪市福島区海老江1-1-31 ☎06-6347-6601
※なるお通信に関するお問い合わせ・情報提供は阪神ステーションネットまで。
※記載の価格には消費税が含まれています。

**NARUO
TSU-SHIN**



※なるお通信のバックナンバーをご覧いただけます。

Mukojoがある街を知る

NARUO TSU-SHIN

なるお通信

鳴尾のまちづくりが寄与した2つの大博覧会

鳴尾エリアマネジメント連絡会の地域活性化への取り組みが評価され、「2022年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞



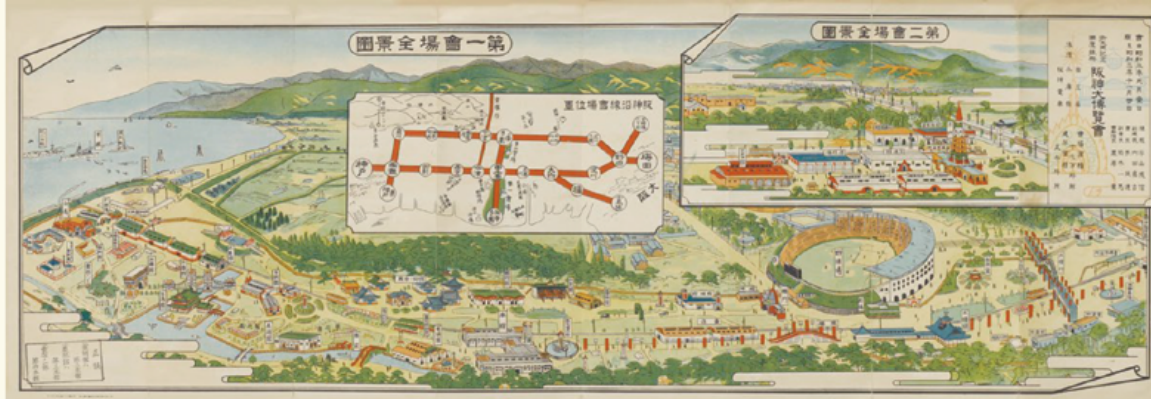
①輝く日本大博覧会会場案内図[昭和11年](株式会社乃村工務社・博覧会資料) ②絵葉書「御大典記念阪神大博覧会」[昭和3年](西宮市総務課公文書・歴史資料チーム)
③浜甲子園阪神水族館開館ポスター ④御子達の楽園浜甲子園阪神パークポスター ※⑤／出典：にしのみやデジタルアーカイブ(<https://adeac.jp/nishinomiya-city/>)

産業や文化の発展を促進し、多くの人やモノが行き交う「博覧会」。実は鳴尾・甲子園エリアでも昭和初期に2度、博覧会が開催されたことをご存じでしょうか？テレビやラジオといった当時の最新技術の紹介やアメリカのサーカス団によるパフォーマンスなど、華やかな展示やイベントが行われ、地域の発展にも大きな影響を与えました。目前に迫る大阪・関西万博の開幕を記念し、当時の資料をひも解きながら、2つの博覧会がこの地で開催された背景と、その後の地域の変遷に迫ります。

女子総合大学で学生数日本一
Mukojoがある街を知る

なるお通信とは…

鳴尾エリアマネジメント連絡会が発行する、鳴尾に住む人も、住んでいない人も、思わず出かけたくなる鳴尾の魅力を発信するミニコミ誌



御大典記念阪神大博覧会[昭和3年] (郷土資料館蔵)



汐湯
博覧会後も阪神
娯楽場・阪神パー
クへと引き継がれ
ました。



ロンドン橋
電気の明かりが灯
されていたことが
伺える写真も。

博覧会ロンドン橋の夜景
(阪神電気鉄道株式会社)



鳴尾・甲子園エリアで開催された2つの博覧会に迫る

阪神電気鉄道の開業を機に、関西有数のレジャースポットに発展した鳴尾・甲子園エリア。そんな土地で開催された2つの博覧会について、西宮市の歴史に詳しい西宮市立郷土資料館の学芸員・東原さんにお話を伺いました。

鳴尾・甲子園エリアは当時、阪神電気鉄道を中心にスポーツをテーマとしたまちづくりが行われていました。阪神甲子園球場(当時は甲子園大運動場)や郊外住宅地などの開発と並行して、甲子園海水浴場へ利用客を運ぶための阪神甲子園線が開通します。その路線や開発が盛んな土地を生かして1928年9月1日から11月30日に開催されたのが、昭和天皇の即位を記念した「御大典(ごたいてん)記念国産振興阪神大博覧会」です。旧枝川とその支流である申川の廃川敷を利用し、現在の甲子園駅から浜甲子園までのエリアが第1会場、国道2号線から甲子園筋の南側のエリアが第2会場となっていました。

即位の様子を紹介する御大礼記念館、子供向けの子供館のほか、発明館、機械館、最新技術を使ったラジオ・テレビジョン受信塔、フランスの凱旋門やロンドン橋を模した建築物など多岐にわたる分野の展示がありました。また、映画館や遊技場といった娯楽施設やお土産店、駐輪場など一般市民も利用しやすい設備も用意。利便性が高い駅直結の博覧会は、このエリアの賑わいをより一層促進しました。閉会后、博覧会跡地に作られた「甲子園娯楽場」では、海水を使用した温泉施設と多くの市民が訪れた余興場がそのまま利用され、初代「阪神パーク(浜甲子園阪神パーク)」へ改称後、次の博覧会の会場として活用されることとなります。



甲子園大運動場(阪神電気鉄道株式会社)

御大典記念阪神大博覧会では会期中の催しとして、阪神甲子園球場での全国野球大会も開催されました。



西宮市立郷土資料館

西宮市川添町15-26
TEL.0798-33-1298
観覧料／無料
開館時間／10:00～17:00
(入館は16:30まで)
休館日／毎週月曜日
年末年始(12月29日～1月4日)
臨時休館(展示替え等)



西宮市立郷土資料館 学芸員:東原直明さん

1936年4月10日から5月31日には、大阪毎日新聞社・東京日日新聞社の共催で「輝く日本大博覧会」が行われました。旧申川河口付近の土地を第1会場、阪神パークを第2会場、六甲高山植物園を第3会場とし、阪神電気鉄道が多くの見物客を運びました。その頃は全国各地で博覧会が行われており、輝く日本大博覧会も家族みんなで楽しめるよう娯楽性がさらに盛り込まれた内容になっています。

なかでもアメリカ人のサーカス団による自動車のアクロバットや、ハワイのフラダンスが人気を集めました。また西宮の酒蔵や大手企業が出展した国産館や企業のPRを目的とした出展が登場し、市民の生活に寄り添った展示が増えました。当時のライフスタイル雑誌で特集が組まれるほど注目され、総来場者数は150万人にのぼったといわれています。

「この地域は明治時代からいちご狩りや競馬場にぎわい、阪神甲子園球場ができたことで、多くの人が集まる地へと発展しました。集客の基盤が整っていたことが、博覧会開催へとつながったのでしょ」と東原さん。現在も、年間約1,200万人が訪れる鳴尾・甲子園エリア。博覧会の歴史を知ること、この地が今もなお観光地としてにぎわい続ける理由が伺えました。

博覧会開催地跡地の変遷

その時代の人々を楽しませてきた好立地なレジャースポット

御大典記念阪神大博覧会の開催 — 1928



阪神甲子園球場や阪神甲子園線を活かして、大規模な博覧会が開催されました。



輝く日本大博覧会の開催 — 1936



阪神パークが第2会場に。ベビーカーでの来場やピクニックをする姿もあったそう。

現在

●御大典記念阪神大博覧会会場[昭和3年] (阪神電気鉄道株式会社) ●絵葉書「御大典記念阪神大博覧会」[昭和3年] (西宮市総務課公文書・歴史資料チーム) ●浜甲子園阪神パーク バターフライ (阪神電気鉄道株式会社) ●浜甲子園阪神パーク 阪神水族館水槽 (阪神電気鉄道株式会社) ●輝く日本大博覧会会場[昭和11年] (株式会社乃村工務社・博覧会資料) ●輝く日本大博覧会絵葉書[昭和11年] (株式会社乃村工務社・博覧会資料)

数々の博覧会が行われた

二代目「阪神パーク(甲子園阪神パーク)」

戦争の影響で閉園した初代阪神パーク。1950年に現在のららぽーと甲子園がある位置に移転し、新しく開園した二代目阪神パークは関西屈指の遊園地として動物園やプール、スケートリンクなどが備わった一大レジャースポットになりました。またここでも、1953年の「伸びる科学博覧会」や1958年の「科学大博覧会」などをはじめとしたさまざまな博覧会が開催。2003年の閉園後に跡地にできたららぽーと甲子園の駐車場には、二代目阪神パークの開園時から残るクスノキがあり今この土地を見守っています。



1950年 甲子園阪神パーク
出典:にしのみやデジタルアーカイブ
(<https://adeac.jp/nishinomiya-city/>)



2004年～現在 ららぽーと甲子園

武庫女の先生に聞く

interview

甲子園エリアの歴史を長年研究してきた丸山先生に、博覧会とつながりの深い阪神パークの成り立ちについて伺いました。



武庫川女子大学
丸山 健夫 先生
武庫川女子大学名誉教授

NHK「歴史探偵」、朝日放送「ニュースおかしな」
なんでもやねん」、ペイコム
「ジモレキTV」に出演し
地元の歴史を解説。

【博覧会と阪神パーク】

初代・二代目ともに
博覧会の会場となった
阪神パークの歴史を振り返る

1928年、「阪神大博覧会」が開催された。会場は甲子園の駅から南の海岸までの甲子園筋沿いである。細長い会場に展示館が点在した。大人気だったのが汐湯(しおゆ)、海水を使った温浴施設だ。隣に並んでいた映画館も賑わった。博覧会の閉幕後、海岸沿いの汐湯と映画館は、阪神電気鉄道に引き取られた。1929年、このふたつの施設を核に建設されたのが、阪神パークの前身、甲子園娯楽場である。三年後、動物園や電気仕掛けの遊具を加え、阪神パークに改名。1935年には水族館も完成する。翌年、甲子園浜の西側で「輝く日本大博覧会」が開催される。このとき、阪神パークは博覧会の第二会場となり、さらにパワーアップした。ところが1943年春、海軍の飛行場建設のために閉園。しかし戦後まもない1950年、場所を阪神甲子園球場の東隣に移して復活した。レオポンで有名な阪神パークは二代目だったのだ。ちなみに二代目を会場として、1958年、「科学大博覧会」が開催された。国産初のプラネタリウムが大人気となり、23万人が星空を楽しんだ。阪神パークは博覧会と縁が深いのだ。

丸山先生の動画・Webサイトはこちら！



「100年前のボールパーク」
(阪神甲子園球場
100周年記念講座 動画)



「ニッチな歴史」
(丸山先生の
ホームページ)